

好評発売中!

ノーモア南京の会 発行

山東省の元教師による日本軍兵士罪行の現場検証

「東史郎日記と私」

任世滄著 田中宏監訳

A5判並製 312頁 頒価 2300円

山東省の元教師による
日本軍兵士罪行の現場検証

「東史郎日記と私」

任世滄 著
田中宏 監訳



この本は、私と東史郎の二人の対話である。私は解きほぐされた戦争の記憶と、東史郎日記との符合を長年調査してきたが、それは、中国各地の老人と日本老兵との対話でもあった。私は、民族の恨みをいつまでも持ち続けるのではなく、こうして“歴史を鑑として未来に向かう”ものにした。日本軍国主義は中国への侵略戦争を起こし、中国人民に空前の災難をもたらしただけでなく、日本人民にも深刻な害をもたらした。今日の中日関係を見ると、私は東史郎が死んでいるのではなく、まだ生きていような気になる。“国の交わりは、民の相親しむにあり”中日両国の民間交流こそが極めて重要なのである。

読者のみなさん、とりわけ若者がこの本を読んで、残酷な戦争に対して切実な感覚を持つことができますように。私たちは、戦争の影の部分から抜け出し、共に手を携え、共同して中日人民の世代をつなぐ友好を創りあげましょう。(任世滄プロローグから)

申し込み：ノーモア南京の会

FAX：03-3889-9499

郵便振替口座：「東史郎と私」出版委員会／口座番号 00110-7-587822

プロローグ

第一章 東史郎、召集を受け入隊

第二章 大野連隊、河北の戦場に入る

第三章 上海－南京に転進

第四章 南京の東史郎

第五章 中島師団、河北河南に移動

第六章 潞王墳駅工事での苦力虐殺

第七章 大伾山、棗荘へ

第八章 齊村から嶧西戦地へ

第九章 望仙山、袁荘へ

第十章 樋口光夫の死

第十一章 濟寧から徐州に転戦

第十二章 黄河決壊

第十三章 大野連隊武漢会戦に転入

エピローグ：罪を悔やみ戦争を反省

任世滄著 田中宏監訳
山東省の元教師による
日本軍兵士罪行の現場検証
「東史郎日記と私」

頒価 2300円(含送料)
ノーモア南京の会

冊

お名前

ご住所・お電話